

-----7月11日-----

※ 今週のアウトック (7/11~7/15)

先週は、米国雇用統計への期待から、徐々に円安が進み、結果的には発表と同時に、一気に水をかけられたような展開となりました。先週木曜日のADP雇用統計が好結果だっただけに、余計に落差も大きかったように思います。ただ、過去、ADPと雇用統計の結果が大きく食い違うことは、意外に多いです。後から考えれば、木曜日のNY市場の動きはその辺りを警戒した動きだったのかもしれない。

さて、今週ですが、ムード的には、ユーロから米ドルに関心が移り、米ドル巻き返しの準備に入ったところで、水を刺された形です。展開が読みづらくなったことは確かです。かと言って、再び円高へ向かうことも考えづらく、一度円高のリミットを確かめに行ってから、円安気味から、しばらくレンジでのみみ合いが続くのではないかと考えています。

ドル円は81.5円のレジスタンスを超えられず、雇用統計で一気に冷やされてしまった形です。一度80円付近まで戻してから、再び80.5円から81円あたりまでの狭いレンジのみみ合いがしばらく続くのではないかとみています。

ドル円の予想レンジは80円から81.5円です。

ユーロは、ユーロドルに関し、ユーロ側もドル側も材料に乏しいため、動きづらい展開が予想されます。ユーロ円も今週は材料が出にくい週になりそうです。方向感のない動き、あるいはポジション解消に左右される動きとなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは114円から117円です。

ポンド円は、ドル高トレンドの影響を受けて少し盛り返してはいたのですが、今週はドルの影響も乏しそうです。129円から130円の間で、どちらへ動きやすいかを試しに行くような動きになるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは128円から131円です。

今週は、盛り上がりきれなかったイベントの後処理的な色彩が

強く、方向感を見つけづらい動きとなりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。